

事業概要

モデル事業名	大阪での大災害発生時における障がい者支援モデルケース事業
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input checked="" type="checkbox"/> 震災対応案件
事業実施主体名	ミンナ DE カオウヤ
実施期間	平成 23 年 1 月 15 日～平成 24 年 3 月 31 日
支援額	5,999,500 円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	大阪市市民局 特定非営利活動法人み・らいず 積水ハウス株式会社 株式会社インサイト
目的・趣旨	①市民巻き込み型の障がい者支援のモデルとして、ノウハウ蓄積 ②被災者ニーズと、大阪市を中心とした人々の何か役に立ちたいという気持ちをつなぎ、具体的な支援につなげるきっかけづくり ③継続的に震災への関心を喚起し続けること ④大阪からの応援の声を被災地に届けること
事業内容	<p>1) 梅田スカイビル地下滝見小路内に震災に関するコミュニティスペースと被災地の障がい者福祉施設で作られた商品を販売するためのスペースを共存させ、来場者への情報提供などを実施</p> <p>2) 講演会・イベントの開催：ミンナ DE カオウヤ関係者や現地で支援活動を実施している人たちを講師としてお招きしたり、取組を紹介したり、一般市民も巻き込んで被災地支援企画を考えたりすることにより、現地の最新の情報に触れ、活動に参加出来る機会を提供（イベント：12月、1月、3月、ミンナ DE カフェ、11月、12月）</p> <p>3) 支援活動を通して把握した現地ニーズ、講演会・討論会の議事録、本案件の中から具体的に支援に至ったケースなどをデータとして蓄積し、大阪が被災した場合を想定した、障がい者支援のあり方についてモデルケースを構築する。</p> <p>4) 授産品販売会：2) と並行して、震災により被害を受けた障がい者福祉施設の授産品・特産品を販売。</p> <p>5) 被災地へ大阪からの応援の声を届ける：1)～4) を通して、得た応援の声を手紙やレポートの形で現地に届ける（毎月 1 回） 市民の皆様への告知はミンナ DE カオウヤの協議体に参加する、大阪市をはじめとした各団体を通して実施する。</p>